

ことねぎだより

2019年3月号 NO.142 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668



年に二度ある播種作業、美山ハウスにて行いました。春以降から初夏の時季にお届けする「若葱」となってくれる大事な葱たち。

年度が変わる時期ということもありますが、こうして種から苗を作る作業を集中して行っていると新たな気持ちやこれからの期待が膨らみます。何事も基本、本質を大事にすることを気づかされています。



今月のことねぎ

春はすぐそこ、冬葱のお届けも終わりに近づいてきました。冬に甘さをしっかりと蓄えて育った冬葱が、この時季の日増しに暖かくなる気温と適度な恵みの雨によって風味が増しているような、実際に手にとってみて感じ取れます。ぜひご賞味ください。

- 今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語(事)を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。



テレビで紹介いただきました！

農業での働き方改革の宣言と実行中



2月10日にBSにて放送されました、政府広報・知りたいニッポン「農業の働き方改革」にてこと京都の取り組みを紹介いただきました！

弊社が農業の働き方改革で宣言しているのは「社員の成長」。働くスタッフの能力はもちろん人間力も成長できるようにと、全てはお客様へお届けする商品の美味しさに繋がるものと取り組んでいます。



放送された内容は番組ウェブサイトでも動画が閲覧できるようになっています！



冷たい風は吹くものの太陽の光が暖かく感じる日も多くなり、じわじわと日照時間も伸びてきているのを大空の下の畑で感じ取っています。

春以降の大切な土台づくり

空気を含ませながら土を耕し、その土地や気候の特徴に合わせて適切な肥料を入れていき、今年の春から暑い夏にかけて活躍する畑の土台づくりをしています。比較的、雨の降るタイミングも良く、ただ畑の面積は広大なため朝から陽が落ちるまでひたすら作業に没頭する農人たち。今は殺風景な

土色の景色が広がっていますが、苗を植え、じわじわと緑色のねぎ畑が目の前に広がるのを楽しみにしています*



春の訪れと被覆回収作業



冬を越えたトンネル被覆の回収。設置するのも手間と時間がかかりますが外すのも同様。今回の冬は暖冬で、急に気温が上がる予報になったり病害虫の発生を避けるために被覆を一度開けて換気したり防除、液肥散布したりといつもよりねぎを守るのに大変だった思い出があります。忍耐力を試された冬でした。